



ふじかわぐちこ



- 特集(スポーツキャンプ地誘致)・・・2P
- こういうことを決めました・・・4P
- 一般質問・・・・・・・・・・・・・・・・6P
- 委員会レポート・・・・・・・・・・・・9P
- 窓・議会見聞録・編集後記・・・12P



国際観光地である当町は、国際的なイベントであるオリンピック・パラリンピック、ラグビーワールドカップ大会等の誘致を進めることにより、更に魅力的な観光地づくりを推進しています。町議会においても平成28年3月に『東京オリンピック・パラリンピック等キャンプ地誘致特別委員会』が議員発議で設置されました。

現在、今年開催のラグビーワールドカップのフランス代表チーム公認キャンプ地が決定しており、また、来年の東京オリンピック・パラリンピックにおいては、トライアスロンのフランス代表チームの事前合宿が行われます。

今後、町民の皆様がスポーツへの関心を高め、健康的な取り組みへの意識付けが深まり、住民交流による文化や歴史などの再発見によって、地域が活性化することが望まれます。また、スポーツツーリズムの振興、情報発信による地域のPR等が推進され、各種スポーツイベント等の誘致が進んでいくことが考えられます。

ラグビーワールドカップフランス代表チーム公認キャンプ地誘致に至るまで

2016.10.31	ラグビーワールドカップ 2019 公認チームキャンプ地選定プロセスに応募申請書を提出
2017.8	くぬぎ平スポーツ公園が日本オリンピック委員会（JOC）よりラグビーの「JOC 認定競技別強化センター」の認定を受ける 日本代表強化合宿が実施され、公認キャンプ地選定に有利となる
2018.3.12	フランスラグビー協会会長と山梨県・富士吉田市・富士河口湖町で、事前キャンプ地受入に係る基本協定書を締結
2018.4.20	フランス代表公認キャンプ地に内定
2018.7.18	組織委員会と富士吉田市・富士河口湖町の三者において、フランス代表公認キャンプ地契約を締結
2018.10.9	公認チームキャンプ地に係るフランス代表チームラグビー協会の現地視察受入
2018.10.10	事前チームキャンプ地に係るフランス代表チームとの誘致連絡調整会議が開催される
2019.2.3	フランスラグビー協会会長と山梨県・富士吉田市・富士河口湖町で、事前キャンプ地受入に係る実施協定書を締結

ラグビーワールドカップ2019日本大会の当町における今後の日程

9/13～9/18	国会議員ラグビー世界大会 主催RWC成功国会議員連盟（くぬぎ平スポーツ公園） 練習 9/14、試合 9/15、9/17、歓迎レセプション 9/16
9/20～11/2	ラグビーワールドカップ 2019 本大会

※「国会議員ラグビー世界大会」とは… ラグビーワールドカップに合わせ、開催国主催で行われる。本大会20参加国のうち、9カ国の議員や関係者が親睦を深めるために試合を行う。参加者は全体で400人ほど。国内無数にある会場の中から、くぬぎ平スポーツ公園が選ばれ非常に名誉なことである。前大会はイングランドで行われたが、アジアでの開催は初となる。



ラグビー男子7人制日本代表 2018年6月8日 くぬぎ平スポーツ公園

2020東京オリンピック・パラリンピック フランストライアスロン代表チーム
ホストタウン登録のこれまでの取り組み

2017.1.30	フランストライアスロン連盟との覚書の締結
2017.5.9～10	フランスパラトライアスロン監督が町の競技施設や宿泊施設などを視察
2017.7.11	フランストライアスロン連盟と基本協定書の締結
2018.5.6～10	フランス（エリート・パラ）トライアスロンチーム合宿の受入れ、2018 世界トライアスロンシリーズ横浜大会のための事前合宿を実施（町民プール） 歓迎レセプション、公開練習、船津小学校へのパラ監督訪問
2018.5.12	2018 世界トライアスロンシリーズ横浜大会応援ツアー
2019.5.18	2019 世界トライアスロンシリーズ 横浜大会応援



2018.5 世界トライアスロンシリーズ横浜大会事前合宿
西湖周遊道路でのバイク練習



2018.5 町内小学校をパラ監督が訪問



2018.7 富士河口湖町フェス ～フランスフェア～
フランス国旗カラーの風船飛ばし



2018.9 トライアスロン教室
日本代表オリンピック対策リーダー
プロデュース選手による指導

今後の日程

2019.8.11～15	ITU パラトライアスロンワールドカップ (2019/ 東京) のフランスパラトライアスロンチーム事前合宿受入 歓迎セレモニー・レセプション、公開練習（富士北麓公園、町民プール）
2019.8.17	ITUパラトライアスロンワールドカップ応援ツアー
2019.10	フランス共和国トライアスロン・パラトライアスロンこども絵画展（町役場）
2019.11	パラリンピアンによる講演会（湖南中）

令和元年 第2回定例会

令和元年第2回定例会は、6月4日に開会し、会期を11日までの8日間と決め、報告2件を承認し、条例の新規制定1件、一部改正3件、町道の路線廃止1件、補正予算7件を審議してすべて原案どおり可決しました。

報告…… (2件)

- 1 平成30年度富士河口湖町一般会計予算継続費繰越計算書について
(防災行政無線デジタル化事業、学校施設長寿命化計画策定事業、船津小学校改築事業予算の翌年度への繰り越し)
- 2 平成30年度富士河口湖町一般会計予算繰越明許費繰越計算書について
(役場庁舎空調設備整備事業、管内保育所空調設備整備事業、県道河口湖精進線拡幅工事補償事業、管内小中学校空調設備整備事業、河口湖美術館被害木伐採事業予算の翌年度への繰り越し)

条例の新規制定…… (1件)

- 1 富士河口湖町森林環境譲与税基金条例の制定について
(森林環境譲与税を財源とする基金設置に伴う制定)

条例の一部改正…… (3件)

- 1 富士河口湖町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例
(国民健康保険法等の一部を改正する法律の施行に伴う改正)
- 2 富士河口湖町介護保険条例の一部を改正する条例
(介護保険法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴う改正)
- 3 富士河口湖町立保育所条例の一部を改正する条例
(保育認定による保育時間を明記するための改正)

町道の路線廃止…… (1件)

町道3085号線（船津）及び町道6030号線（勝山）の路線廃止

補正予算…… (7件)

◆令和元年度富士河口湖町一般会計補正予算（第1号）

〈主な歳入〉

●国庫支出金：プレミアム付商品券事業補助金	4,533万円
●繰入金：公共施設建設基金繰入金	2,400万円
●繰越金	8,123万円
●諸収入：プレミアム付商品券売上金	9,600万円

〈主な歳出〉

●プレミアム商品券事業費	1億4,133万円
●大石自然生活館増築工事	2,400万円
●体育施設修繕費	891万円
●富士山河口湖音楽祭実行委員会補助金	1,742万円

◆その他、特別会計補正予算（5件）及び公営企業会計補正予算（1件）



こういふことを決めました!

令和元年 第1回臨時会

令和元年第1回臨時会が5月14日開会し、次の案件を審議し原案通り可決し、同日閉会しました。

専決処分2件(条例の一部改正2件)

- 1 富士河口湖町税条例等の一部を改正する条例
(地方税法の一部改正に伴う、必要な条例の一部改正)
- 2 富士河口湖町国民健康保険税条例の一部を改正する条例
(国民健康保険法施行令の一部改正に伴う、必要な条例の一部改正)

請負契約締結……(7件)

- 1 小立小学校空調機器設置工事請負契約
契約金額:1億5,714万円
契約の相手:株式会社 コバヤシ工業
- 2 大石小学校空調機器設置工事請負契約
契約金額:5,562万円
契約の相手:株式会社 加取
- 3 河口小学校空調機器設置工事請負契約
契約金額:5,059万8千円
契約の相手:有限会社 湖南電工
- 4 勝山小・中学校空調機器設置工事請負契約
契約金額:1億5,120万円
契約の相手:フジコンストラクト株式会社
- 5 西浜小学校空調機器設置工事請負契約
契約金額:5,313万6千円
契約の相手:井出電気株式会社
- 6 富士豊茂小学校空調機器設置工事請負契約
契約金額:5,432万4千円
契約の相手:井出電気株式会社
- 7 河口湖北中学校空調機器設置工事請負契約
契約金額:7,722万円
契約の相手:株式会社 梶原工業所



組合議会議員選挙

1 鳴沢・富士河口湖恩賜県有財産保護組合議会議員

わたなべ ひでゆき 渡辺 英之(船津)	なかの たかひと 中野 貴民(船津)	かじはら よしみ 梶原 義美(船津)	い で そういち 井出 總一(船津)
とがわ ひさお 外川 壽雄(船津)	ふるや もとよし 古屋 幹吉(小立)	わたなべ よしお 渡辺 美雄(小立)	わたなべ てつお 渡辺 鐵男(小立)
とがわ はじめ 外川 一(小立)	くらさわ つるよし 倉沢 鶴義(勝山)	おさの かつしげ 小佐野勝重(勝山)	おおいし まさお 大石 正夫(勝山)
おがさわら よしお 小笠原良雄(大嵐)	わたなべ ひさまさ 渡辺 久正(大嵐)		

2 河口湖南中学校組合議会議員

わたなべ ひさまさ
渡辺 久正(大嵐)

一般質問



一般質問者
山下 利夫

住宅リフォーム補助制度の継続を

Q 町民が町内業者との契約にもとづき実施する住宅リフォーム工事の費用の一部を補助する「住宅リフォーム補助制度」。この3年間の実績は。

A 都市整備課長 一般リフォームの補助率は、対象経費の10分の1以内(限度額10万円)で、耐震リフォームはその倍。3年間(平成28、29、30年度)の実績の合計は、103軒、総工事費2億7344万円、補助額968万円。

Q 総工事費は補助額の約28倍にもなり、経済効果は大きい。町内業者からも「仕事が増えて助かる」など歓迎の声がある。この制度は、平成26年度から3年間実施した後、延長し今年度までの期限となっているが、再度の延長を。

一般質問

A 都市整備課長 3年間の総工事費2億7344万円で、町内の小規模業者や個人事業者への経済的効果は多大であり、地域経済の活性化に寄与していることは明確である。住民からも制度継続の要望が寄せられており、再度3年間延長することを前提に、準備を進める意向である。

短期保険証への切り替えは中止を

Q 全国民医連の調査では、国保税の滞納などにより、保険証が手元にならないために、受診が遅れ死亡に至ったと考えられる事例が県内にもある。当町では、国保税が過年度分1期以上の滞納がある場合、正規保険証の更新が保留となり、役場に出向き1期分納めて1か月分の短期保険証の発行を受けなければ、手元に保険証がない状態になる。実際に、短期保険証が役場に留め置きになっている方がいる。命にかかわることから、滞納がある場合の短期保険証への切り替えは実施すべきでない。

A 住民課長 保険証の更新ができない世帯は160世帯。役場において、未納者との納税相談、生活状況確認などの結果、誓約書の提出や分納をしていただき、交付の条件を満たした方に短期保険証の交付を行っている。必要に応じ担税力調査を行い、滞納処分の執行停止を行う場合、

また、急な入院や診療が必要ときには短期保険証を交付し後日納税相談を行う場合など、実情に応じた対応もしている。高校生世代以下のお子さん全員には、6か月有効の保険証を郵送している。

ひとり親世帯への経済的支援強化を

Q 町内のあるシングルマザーの方から「非正規雇用で、フルで働いても、月10万円ほどの手取りしかない。正規の仕事を紹介してもらっても子どもが小さいために断られた」との声を聞く。平成28年度国民生活基礎調査では、母子世帯の平均総所得は、児童のいる世帯の38%、全世帯の50%であり、子どもがいる現役世帯の相対的貧困率は、大人が2人以上の世帯10.7%に対し、大人が1人の世帯は50.8%にもなる。ひとり親世帯のおかれている現状は厳しい。さらなる経済的支援の強化が必要。たとえば、民間賃貸住宅への家賃補助の検討を。

A 子育て支援課長 町内のひとり親世帯は192世帯。そのうち児童扶養手当の全部支給(月42,910円)を受給しているのが78世帯。民間賃貸住宅の家賃補助は、県内ではまだ実施している市町村はない。国の「住宅確保給付金」などを勘案しながら、今後の研究課題とする。



一般質問者
佐藤 安子

住民サービスの向上を

Q 車椅子の方やご高齢の方から、住民課のカウンターを座れるようにしていただきたい。また、職員が横を向いているため声をかけにくい。乳幼児と一緒に来庁しても遊ばせるスペースが無い等々様々な不便があるとの相談があったので改善を。

A 住民課長 可能な限りローカウンターへ改善し、利便性のよい窓口サービスの提供を考えている。執務スペースの一部縦向き配置や混雑時間帯の当番制の導入、職員の作業動線レイアウトの変更などを検討したい。キッズコーナーは利用者の安全面なども考慮する必要があるため、役場関係各課と研究したい。

高齢者ドライバー支援

Q 高齢者による交通事故が後を絶ちません。当町においては、高齢者ドライバーがより長く、安全に自動車運転ができるように、高齢者ドライバー支援事業が実施されている。改めてこの事業の詳細を伺う。また、免許証返納について町の支援は。

A 福祉推進課長 65歳以上の町内在住者で定員は40名、年齢の上限はなく、毎年7月に開講し、12月まで毎月1回、全6回の日程で1回の講習は2時間から3時間ほど。岳麓自動車教習所の実車教習や歩行者体験、安全運転教習の受講等。高齢者の運転特性等の把握や運転技能改善の研究に山梨大学の先生や学生がかかわっている。免許証返納支援は4月からスタートした高齢者外出支援事業を利用してほしい。

TNR(地域猫)について

Q 5月の広報に「TNR活動をご存知ですか?」とのタイトルで、環境課からのお知らせが掲載されている。具体的な取り組みを伺う。

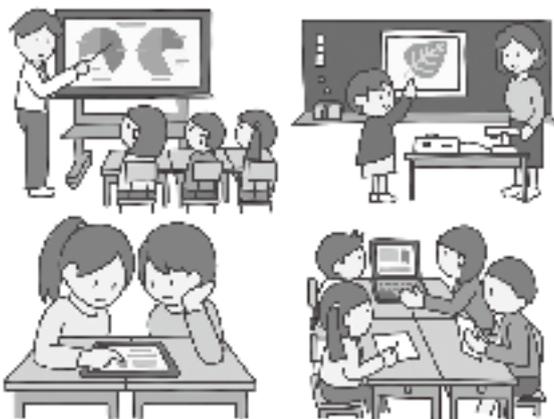
A 環境課長 TNR活動とは、トラップ、ニュートター、リターンの頭文字をとった略であり、地域猫を保護し、不妊

手術を行い、もとの場所に戻すことで、地域猫の繁殖を防ぎ、新たに地域猫がふえることなく、その命を全うすれば、徐々に地域猫が減っていく活動。町として、地域住民及びボランティア団体の三者共同で取り組んでいく。

プログラミング教育の準備は

Q 来年度小学校で必須化されるプログラミング教育の準備状況を伺う。

A 教育長 町内8つの小学校のICT環境整備、充実を積極的に進め、教師一人一人のICT活用能力やプログラミング教育遂行のための資質、能力の向上に努めている。



一般質問



一般質問者
渡辺 武則

新町建設計画と合併特例債について

Q 旧上九一色村南部地区との合併から13年が経過し、合併特例債の発行期限も残すところ1年9カ月余りになる。新町建設計画をもとに策定をされた130数項目からなる合併に伴う主要事業の執行状況とその効果を町民にお示しすべき年度と考えるが。

A 政策企画課長 現在平成30年度における各事業の進捗状況を各担当課において検討、把握しているところで、今後の地域審議会において進捗状況等報告したいと考えている。

一般質問

Q 主要事業のひとつ、西湖西グラウンド整備について地元地区と協議してきたが、令和になってもこの協議を進めていく考えに変わりはないか。

A 生涯学習課長 400mトラックの整備には多額の費用が想定される。根場地区より15分程の本栖湖スポーツセンターの施設活用に視点を向け、現状の施設の活用、整備について協議を進めたいと考える。

ふるさと納税への取り組みについて

Q 国では今年3月に返礼品は寄附額の3割以下の地場産品に限る、これを逸脱する自治体は制度の対象外とするという改正地方税法を成立させた。当町のふるさと納税に対する基本的な考えと、新たな制度での取り組みについて伺う。

A 政策企画課長 観光立町の強みを生かすため、当町を訪れる皆様さまにさまざまな体験ができるようなサービスの提供による返礼に重点を置くとともに、地場産品によるさらなる発掘にも力を入れて行きたい。

Q ガバメントクラウドファンディングに対する考えは。

A 政策企画課長 他の自治体の事例を参考に今後検討していきたい。

廃校の再活用計画について

Q 合併に伴い統合された精進小学校と上九一色中学校。平成28年生徒数の減少から勝山中学校へ統合した西浜中学校。これら3校の再活用計画は。

A 政策企画課長 精進小学校と上九一色中学校は、地域より有効利用の要望が出され活用策の検討を進めてきたが最終的な意見集約には至っていない。西浜中学校は、勝山中学校の太鼓部やOBが利用している。今後も地域からの意見を拝聴し、各地域の将来のあり方を含めた議論が必要で、老朽化が進む上、経費が高むなら、ある程度の期間を設け取り壊すなどの財産処分も必要と考える。

Q これら3校の年間維持管理費は。

A 学校教育課長 校舎、体育館に掛かる維持管理費の過去3年の平均は、光熱費・保守点検費・保険料・警備費・県有地借地料等合わせて、精進小学校が117万円、上九一色中学校が111万円、西浜中学校が36万円（光熱費等は西浜小学校負担）になる。また、精進小学校では47万円、上九一色中学校では51万円の過去3年の平均で使用料収入もあった。

委員会
レポート

総務

常任委員会

総務
常任委員会の
審議状況を
報告します。

2020年オリ・パラ 関係者の宿泊受け入れは

- Q** 自転車競技等、選手・関係者の宿泊受け入れ予定は。
- A** 政策企画課長 組織委員会と話をしている。一部で宿泊できそうな部分もある。

防災士の資格取得状況は

- Q** 防災士資格取得推進補助金の申請状況と今年度の見込みは。
- A** 地域防災課長 5名分の予算計上をしたが現在申込みや相談は無く、課の担当者で受講を考えている。

自主防災マップ作成の 進捗状況は

- Q** 各地区の自主防災マップの作成予定はあるか。
- A** 地域防災課長 現在実施箇所はないが、各地区へ出向いて作成方法等の

相談をしていきたい。

国会議員のラグビー大会

- Q** 9月13日からラグビーワールドカップを主催する国会議員によるラグビーの大会がくぬぎ平スポーツ公園で行われるが、関係者の人数とメディアとの連携等を伺う。

- A** 政策企画課長 10カ国から2500、300名程度と聞いている。メディアからはぜひ世界発信してほしいが、セキュリティ側面も考慮し、主催する議員連盟と調整している。

- Q** 大会開催時、誘導看板等の交通整備は。
- A** 政策企画課長 中央高速河口湖インター付近から会場までのルートに多言語の誘導看板を設置する予定。

防災対策

- Q** 防災行政無線のデジタル化工事の進捗状況は。
- A** 地域防災課長 令和2年3月末が工期。工事は全体で7割程度進んでいる。
- Q** 本工事が完了すると各家庭に入っている防災受信機の撤去はどうなるのか。

- A** 地域防災課長 デジタル化工事が完了した時点で全ての個別受信機は使えなくなる。撤去については町で考える。

- Q** 防災放送が聞きづらいと言った声を聞くが、各地区への対応を願う。

- Q** 災害時の備蓄品として注目され始めている液体ミルクだが、備蓄を検討しているか。

- A** 地域防災課長 現在の備蓄品目には入っていない。メリット・デメリットを含め検討してゆく。

- Q** ケーブルテレビの防災アプリは町外でも使える便利なツールである。町でも積極的にアピールすべきだ。

- A** 地域防災課長 毎月の広報誌でCATVアプリとCATVデータ放送のPRをしている。また町独自の防災アプリも現在構築しているので今後周知してゆく予定。





事業系ごみ袋の指定ごみ袋の使用状況

Q 当初、事業系ごみ袋の指定ごみ袋の使用状況はあまりよくなかったが、その後の改善を含め、最近の状況、現状を伺う。

A 環境課長 事業系ごみ袋は、町で指定されているごみ袋を使うのが基本である。直近の状況は、大半が黄色いごみ袋を使用している。

Q とくとき指定でない袋で事業系ごみを運んでいるところを見ることがある。引き続き指導と監視をお願いする。

A 環境課長 指定以外のごみ袋の持ち込み業者は受け入れしない。業者のほうに町指定のごみ袋を使うように厳しく指導をしていく。

ひきこもりや不登校の状況

Q 最近、大人のひきこもりに関連する事例が問題化されている。元をたどると、小学校・中学校からの不登校等が原因ではないかと言われている。当町の不登校の状況を。

A 学校教育課長 ひきこもり児童・生徒はいない。不登校児童・生徒の対応は、教育センターに通いながら、スクールソーシャルワーカー、県のカウンセラーが入り、学校へ行けるよう努力をしている。

Q ひきこもりや不登校になったりする原因には、家庭環境にも要因があるかと思うが、その子たちの進路選択についてどんなふう考えているか。

A 教育長 町の教育センターに指導教室があり、学校には登校できない生徒に対して可能な限り中学校と連携する中で学習指導や進路指導に取り組んでいる。

高齢者の外出支援事業

Q 高齢者の外出支援事業として、75歳以上の一人暮らし並びに75歳以上の世帯に、タクシー券並びにバスの定期券を助成する事業があるが、今現在当町で、そのような世帯は何世帯あるのか。

A 福祉推進課長 4月1日現在、一人暮らし世帯が1211世帯、高齢者のみ世帯が2281世帯である。

Q 高齢者外出支援事業の周知と現在の申請状況を伺う。

A 福祉推進課長 広報、また町のホームページ、その上老人クラブ等へは直接お話している。また、今現在まで、タ

クシーについては24人、バスについては8人の申請がある。

公共交通の整備

Q 高齢者の外出支援としてさらに、公共交通の整備を視野に入れてもらいたい。町長のご意見を伺う。

A 町長 免許の返納ということが、現実的なものとして町内で多々見受けられ、その人たちの日常の活動に対して、町内の循環バス等の考えは、その状況を見ながら考えていく。

船津小学校通学路の交通事故防止について

Q 船津小学校児童の半分以上が通学路である旧農協前交差点より50mほど北方向へ、歩道を設置して頂きたい。

A 学校教育課長 待避所の設置について、PTA、また学校側から要望が出され、富士吉田警察署、役場関係部署、等々で現地周辺の確認をしている。

現状の道路は狭く、歩道を設置すると自乗車の通行の支障となり、困難と考えている。今後、歩道の計画を立てた上で、用地交渉また工事費の確保等が必要になるので、関係部署と検討・協議を行いたいと考えている。

委員会
レポート

産経土木
常任委員会

産経土木
常任委員会の
審議状況を
報告します。

自然生活館増築工事の詳細

Q 自然生活館増築工事の内、変電設備、エレベーター、地盤改良費の内訳は。

A 農林課長 受電変電設備が1400万円、エレベーターの設置費が700万円、地盤改良工事が300万円の合計2400万円となる。

下水道認可区域の見直し

Q 下水道認可区域の見直しは考えているか。

A 水道課長 ある一部の下水道認可区域では、未だ下水道が通っていないにもかかわらず、浄化槽設置に対しての補助金はおりなかった。基本的には一度広げた認可区域を狭くすることは難しかったが、今年度から県は見直しの作業に入った。町でも狭くしていく方向である。

町の特産品の状況は

Q 町の特産品である富士桃の生育状況は。

A 農林課長 昨年は600個ほど収穫があった。今年は、防蛾灯を設置し

て、虫から守り、一部は摘み取って、出荷数を増やしていく。

Q 富士ヶ嶺のチーズと、ジビエ料理は。

A 農林課長 富士ヶ嶺のチーズは、まだ体制が整っておらず、たくさん生産することができない。ジビエについては、昨年は80頭ほどの処理がされており、順調に進んでいる。現在、肉のほか皮についても研究を進めている。

西麓地区への集客は

Q 昨年のインバウンド宿泊客は60万人を突破したが、河口湖南岸、北岸に

集中して、西湖、精進・本栖エリアに客が分散しないが、どのような対策を行っているのか。

A 観光課長 グリーンライン、ブルーライン等のバスを増発し、河口湖駅には特別に観光宣伝のパンフレットを置き、足を向けてもらえるように対応している。

Q 西富士観光協定の具体的な策はあるのか。

A 観光課長 富士宮市と協定し2年前から「西麓きつぷ」をスタートした。昨年は海外キャラバン、大阪方面キャラバン等を富士宮市や民間施設と一緒に実施している。

東恋路交差点の雑草

Q 東恋路の立体交差にイタドリがひどく増えているが、切ってもらえないのか。

A 都市整備課長 住民からもそういう声があったので既に国交省に連絡して、切ってもらうように手配は済ませてある。再度、お願いしていく。

Q のり面に自生している松も、大きくなる前に切ってほしい。



東恋路交差点

「盆踊りを若い力と共に」

子ども太鼓指導有志 流石 良子

「盆太鼓」の取り組みのきっかけは、地域伝統行事を大切に受け継ぎたいと思い、お盆に当たり、ご先祖様への感謝と、日々の安寧と豊かな暮らしを願い、地域の皆様と共にお盆の一時を過ごしたいと考えたことから始まりました。

近年の盆踊りは、大石盆踊り実行委員会(区長会・育成会・お祭り保存会・体協・民生委員・有志の皆様)により運営されています。昼の部には、「子ども広場」が開催され、模擬店では多くの子も達が楽しい時間を過ごしています。夜の部は盆踊り実行委員会の皆様から建てた「やぐら」を中心に、地域の皆さんが輪となり盆踊りが開催されました。

そこに昨年初めて、手作りの太鼓「タイヤ太鼓」を小学生12名が、盆踊りの曲に合わせて「盆太鼓」として披露しました。子ども達は、夏休み4回の練習で、リズムよく叩くことができていました。練習に積極的に取り組み、終盤では全身でリズムをとり、踊るように叩くことができていました。見ているだけで身体が動き出し、楽しさが伝わってきました。子ども達の明るく元気な一生懸命な姿を、踊りの練習に参加した地域の方々も感激され、毎回の練習では、大きな拍手で子ども達を激励してくださいました。練習の時から、子ども達と地域の方々との和やかな雰囲気を感じてきました。



子ども太鼓メンバー

たりまして、子ども達の力を借りることが、これからの地域の繋がりにしてよい事と考え、大石小学校に地域の代表の方々と共に「盆太鼓」の叩き手の協力依頼をいたしました。ご賛同を頂き、希望者を募ることができました。

大石小学校並びに、盆踊り実行委員会の皆様のご協力、ご尽力のおかげで、盆踊りに大石地区で初めて「子ども太鼓」で音頭をとることができました。深く感謝しております。

伝統の継承を子ども達の力を借りて行うことができ、未来に輝く子ども達と地域の皆様の輪が広がっていくことを喜ばしく思いました。

今年も多くの皆様が「盆太鼓」に全力で取り組む子ども達の姿をご覧いただきながら、一緒に盆踊りの一時を楽しんでいただけることを願っています。

議 会 見 聞 録

私は平成29年に富士ヶ嶺地区にセカンドハウスを取得しました。定住は定年退職後にと考えていましたが、富士河口湖町の豊かな自然と人情の厚さ、また、車の運転の出来る限りですが暮らしやすいことから、すぐに定住を意識し、昨年町民となりました。

町議会を傍聴した経緯は、知り合いの議員が一般質問をするということを聞き、その仕事ぶりを見たい、エールを送りたいという気持ちからでした。コンサートでも見るような感覚で議場に入りはしゃいでいましたが、帽子を取るよう

注意を受けドキッとしました。また傍聴したことをブログの記事にしようと写真撮影が可能か確認をしましたが、残念ながら却下されてしまいました。

一礼から始まった議会は、神事のように厳かで、質問をしている議員と回答している行政官の少数が発言しているだけ、その他は沈黙を守り静寂だったことが印象的でした。開会の冒頭に全員で、何か唱和するとか、傍聴者の名前を読み上げるとかしたら場が和むのではないかと思います。

私はテレビを見ない主義なので、また議場に足を運びたいと思っています。
(富士ヶ嶺地区 金子初美)

議会を傍聴しませんか？

次の定例会は9月です

どなたでも傍聴できます。議場入口で受付を済ませ傍聴してください。入口には注意事項が掲示されています。

編集後記

盛夏の候、町民の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか？比較的涼しいと言われる当町でも夏の暑さは身に伝えますね。因みに河口湖測候所でのこれまでの最高気温は35.3度です。これは、1946年7月16日と2013年7月12日の2回記録されています。

さて、今回の議会だよりは先日6月に行われた第2回定例議会の内容をお伝えしております。内容は3件の一般質問が主なものとなっております。そのほかに各委員会での質疑のほか、特集も組んでおります。本当に知りたいこと、本当に進めてほしいことが議会で取り上げられているかをご確認ください。町民の皆様のご参加は、このような情報収集から始まると思います。そのためにも開かれた議会を目指してまいります。

(外川 満)

● 議会広報常任委員会
委員長 三浦 康夫
副委員長 古屋 幹吉



委員 古屋 幹吉
委員 渡辺 英之
委員 本庄 幸久
委員 半田 幸久
委員 外川 幸久
委員 山下 美雄
委員 小佐野 利夫
委員 快